

事務事業評価表

評価対象事務事業名	公園緑地管理経費
-----------	----------

区 分	No.	評価の視点	評価	評価理由
必要性	1	市民ニーズを的確に把握しているか。 目的に照らして事業の必要性はどうか。		
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。		
効率性	3	事業の手法は適切で、効率的に行われているか。		
費用対効果	4	コストに比して費用対効果は高いか。		
成 果	5	十分成果があらわれているか。		

★評価は○△×を記入

委員会 論点	・指定管理により市民満足度の向上が図られ、適切に経費が使われているか。
-----------	-------------------------------------

評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	評価結果	
意見 改善点など			

事務事業評価表

評価対象事務事業名	商店街等活性化推進事業
-----------	-------------

区 分	No.	評価の視点	評価	評価理由
必要性	1	市民ニーズを的確に把握しているか。 目的に照らして事業の必要性はどうか。		
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。		
効率性	3	事業の手法は適切で、効率的に行われているか。		
費用対効果	4	コストに比して費用対効果は高いか。		
成 果	5	十分成果があらわれているか。		

★評価は○△×を記入

委員会 論点	・前回評価を踏まえ、商店街活性化に向けてどのような改善が図られてきたか。 ・100円商店街・街バルやプレミアム商品券(地方創生交付金事業)等の効果
-----------	--

評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	評価結果	
意見 改善点など			

平成27年度決算事務事業評価資料(H28.9審査)

別紙4

					担当課	都市整備課
一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	公園整備事業費
対象事務事業名	公園緑地管理経費				主要施策報告書	177ページ
目的	事業の目的は何か	都市公園等の利用者に対する安全管理対策を行うとともに、都市公園を適切な管理及び発展を図ることにより、都市公園の設置目的である公共の福祉の増進に寄与する。				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金支給 ☐ その他()				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	・指定管理者制度導入により、民間の能力やノウハウを幅広く活用し、市民サービスの向上を図るとともに維持管理経費の削減に努める。 ・公園施設の修繕工事等の実施。				
成果	目的に対する成果は何か	公園施設の適正管理を行うことにより、子供や高齢者をはじめ誰でもが安全で安心して利用ができ、市民サービスの向上が図られた。				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		器具・施設修繕料	3,452,760	亀岡運動公園(4件)		
		火災保険料	376,900	・建物総合損害共済分担金 ・平和台公園森林保険		
		その他委託料	1,985,040	・都市公園遊具点検業務委託 ・亀岡運動公園修景施設作業委託 ・平和台公園給水業務		
		都市公園管理業務委託	69,518,000	・都市公園2箇所 42,645,000円 ・都市公園33箇所 26,873,000円		
		土地賃借料	4,000,000	平和台公園土地賃借料		
		工事請負費	15,828,480	亀岡運動公園(4件)		
		備品購入費	1,074,600	施設備品購入		
		計	96,235,780			
		事業に携わった職員数は	4人 × @7,348,000=	29,392,000	※	
		合計 125,627,780				
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明		
		公園占有料	449,030			
		公園使用料	48,600			
		都市公園等管理基金運用益金	94,657			
		都市公園等管理基金繰入金	1,700,000			
	計	2,292,287				

課 方 題 向 性	今後の課題は何か	都市公園施設の老朽化や樹木の老木化により、修繕費用や日常の維持管理において、多額の財源の投入が必要となってくる。
	今後の方向性はどうか	指定管理制度導入により、公園施設の適切な維持管理を実現するとともに、公園施設の修繕工事や更新を行うことにより、公園利用者の利便性の向上と安全管理対策を進める。

※職員の平均人件費を参考数値として示している

亀岡市都市公園 3 3 箇所

名 称	位 置	面積 (ha)	主な施設等
平和台公園	余部町安行山 外	35.00	園路、休養・便益・管理施設等
東つつじヶ丘公園	東つつじヶ丘都台2丁目地内	0.25	園路広場、遊戯・修景・便益施設等
坂部公園	東堅町地内	0.17	広場、遊戯・修景・便益施設等
天川公園	曾我部町穴太二ツ池地内	0.29	広場、遊戯・修景・便益施設等
野条公園	篠町野条イカノ辻南地内	0.19	広場、遊戯・修景・便益施設等
保津ヶ丘公園	保津町上火無地内	0.27	広場、遊戯・修景・便益施設等
河原町公園	河原町地内	0.13	広場、遊戯・修景・便益施設等
西つつじヶ丘公園	西つつじヶ丘大山台2丁目地内	0.41	広場、遊戯・修景・休養施設等
三ツ辻公園	馬路町小米田地内	0.14	広場、遊戯・修景・便益施設等
大堰川緑地東公園	保津町六条口 外	2.60	広場、遊戯・修景・便益施設等
旭公園	旭町年角地内	0.32	園路広場、遊戯・修景・管理施設等
南郷公園	古世町西内坪地内	0.40	園路広場、休養・修景・管理施設等
ぐみ谷公園	南つつじヶ丘大葉台1丁目地内	0.16	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
ぐみ谷南公園	南つつじヶ丘大葉台1丁目地内	0.19	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
大日谷北公園	南つつじヶ丘大葉台2丁目地内	0.41	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
ひのき谷北公園	南つつじヶ丘桜台1丁目地内	0.15	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
ひのき谷公園	南つつじヶ丘桜台3丁目地内	0.26	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
大日谷公園	南つつじヶ丘桜台2丁目地内	1.10	園路広場、遊戯・便益・修景施設等
吉川公園	吉川町吉田沢地内	0.46	園路広場、遊戯・便益・修景施設等
古世親水公園	北古世町1丁目地内	0.20	園路、休養・修景・管理施設等
南金岐雨蛙公園	大井町南金岐重見地内	0.18	園路広場、遊戯・便益・修景施設等
鉄道歴史公園	大井町並河1丁目地内	0.09	園路広場、管理・休養・修景施設等
大藪1号公園	大井町並河3丁目 他	0.10	園路広場、遊戯・管理・修景施設等
大藪2号公園	大井町並河3丁目 他	0.24	園路広場、管理・修景施設等
山本ふれあい公園	篠町山本中條地内	0.13	広場、遊戯・便益・修景施設等
桜台アゼリア公園	南つつじヶ丘桜台5丁目地内	0.73	園路広場、遊戯・管理・修景施設等
マロッコ公園	篠町馬堀駅前2丁目地内	0.15	園路広場、休養・管理・修景施設等
七色公園	篠町馬堀駅前1丁目地内	0.05	園路広場、休養・管理・修景施設等
ちとせ山公園	南つつじヶ丘桜台4丁目地内	0.21	園路広場、遊戯・修景・管理施設等
前山東公園	東つつじヶ丘曙台4丁目地内	0.30	広場、遊戯・休養・修景施設等
前山南公園	東つつじヶ丘曙台4丁目地内	0.11	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
大成公園	大井町土田1丁目地内	0.14	園路広場、遊戯・休養・修景施設等
大井西部公園	大井町土田3丁目地内	0.61	園路広場、遊戯・休養・便益施設等
都市公園33箇所 公園面積		46.14	

亀岡市都市公園 2 箇所

亀岡運動公園	曾我部町穴太地内、吉川町吉田地内	15.90	園路広場、遊戯施設、運動施設等
七谷川緑地(さくら公園)	千歳町国分後田地内	1.50	園路広場、休養施設、運動施設等
都市公園2箇所 公園面積		17.40	

平成27年度決算事務事業評価資料(H28.9審査)

別紙 4

					担当課	ものづくり産業課
一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
対象事務事業名	商店街等活性化推進事業				主要施策報告書	163ページ 169ページ
目的	事業の目的は何か	☐ 商業振興 ☐ 地域経済の活性化・賑わいづくり ☐ 個店の経営強化				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	☐ 商業活性化推進計画に基づく、イベント(集客・賑わいづくり)事業等に対する補助金交付。(イベント事業:13件、イルミネーション事業:3件、サンガ応援事業:3件、[繰越]地域商業活性化事業:4件) ☐ プレミアム商品券事業に対する補助金交付。 ☐ 地域商品券等キャッシュレス環境整備事業に対する補助金交付。				
成果	目的に対する成果は何か	☐ 消費者とのコミュニティ形成と賑わい創出。 ☐ 集客による商店街の活性化と商業振興。 ☐ 地域経済の活性化とご当地カードの普及促進。 ☐ 商業基盤の強化(クレジットカード対応店の普及)。				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		商店街等イベント事業補助金 地域商店街にぎわいづくり支援事業補助金	5,037,000	イベント・イルミネーション・サンガ応援事業 1/2. 1/3補助		
		地域商業活性化事業補助金	6,000,000	100円商店街(1事業)・街バル(3事業)		
		プレミアム商品券事業補助金	139,807,454	電子商品券発行		
		地域商品券等キャッシュレス環境整備事業補助金	6,500,000	電子端末機設置		
		計	157,344,454			
	事業に携わった職員数は	3人 ×@7,348,000=	22,044,000	※		
		合計 179,388,454				
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明		
		一般財源	5,037,000			
		国補助金	152,307,454			
	計	157,344,454				
課題・方向性	今後の課題は何か	☐ 商店街・商店の集結力を高めること。 ☐ 新規顧客を創造すること。 ☐ 商業団体の組織を強化すること。				
	今後の方向性はどうか	☐ 亀岡市商業活性化推進計画に基づく取り組みを支援していく。 ☐ 個店の経営強化と賑わいあるまちづくりを推進していく。				

※職員の平均人件費を参考数値として示している